

研究分野のキーワード：外国語教育，ドイツ語，ドイツ文学，推理小説

#### 研究紹介

私の研究分野は二つです：1. 外国語教育、特にドイツ語教育、2. 現代ドイツ文学

日本の外国語教育は普通に、小学校から高等学校まで英語を学びます。大学に入学してから、「第二外国語」という科目がよくありますが、愛知教育大学では「初習外国語」と言い、ドイツ語、フランス語、中国語、ポルトガル語から選びます（初習＝大学で初めて習う）。私は大学でドイツ語を教えていますので、ここではドイツ語教育の研究を紹介します。英語とドイツ語の勉強は大きな違いがあります。英語の場合は、ローマ字、主語（日本語の「飲む」は英語で I drink か they drink）、動詞の語尾（I drink, he drinks）、助動詞、単語の意味（英語の sister は日本語で「姉」か「妹」）などのことについて、日本人の小（中）学生は初めて知ります。しかし、二つ目の外国語を習得するとき、その基礎的なことはもう知っていますので、大学のドイツ語は英語より早く勉強できます。また、ドイツ語と英語は似ています。両方はインド・ヨーロッパ語族のゲルマン語派に所属しています。それで、語順、文法、語彙なども似ていますので、ドイツ語はあまり難しくないと思います。例えば、「風」は英語で wind、ドイツ語で Wind、「歌う」は英語で sing、ドイツ語で singen、「暖かい」は両方で warm です。研究課題はその第一外国語（英語）の知識を使って、第二外国語（ドイツ語）はできるだけ分かりやすく習得する方法を探します。例えば初級のテキストの語彙と文法は、英語と似ていることばを選択すると、ドイツ語の勉強はよりスムーズにできます。日本語、英語、ドイツ語を比較して、または学生のドイツ語作文などの練習のミスと良くできることを研究します。その研究成果を使って、教材の作成をしています。

現代ドイツ文学は主に推理小説を読んで分析します。推理小説のジャンルは広くて、警察小説、スパイ小説、ハードボイルドなどがあって、読者にとっても人気のある文学です。私が特に興味があるのは、「Regiokrimi」というある地域を舞台にした推理小説です。その地域の文化、歴史、習慣、社会的問題などは小説の大事なテーマなので、その推理小説は大衆文学だけではなくて、現代社会の出来事を反映します。その推理小説の影響を研究しています。